

さいたま市HIV即日検査・相談室」の特徴

① 即日検査であること

- ・近年、ニーズが高い**即日検査**の実施

② 日曜日の午後を実施していること

- ・NPOとの連携による休日検査の実施
- ・**日曜・午後**の実施

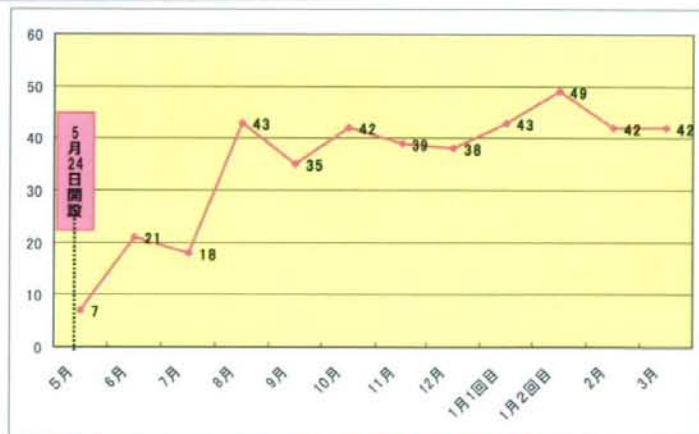
③ ターミナル駅前での実施

- ・JACK大宮という比較的**認知度の高い施設**での実施
- ・**大宮駅から徒歩1分**以内という高い利便性

④ NPOの経験を活かした相談の実施

- ・HIV/AIDSの分野で経験豊富な**NPOのスキル**の還元
- ・検査前後の**相談や予防&啓発**の実施

受検者数の推移

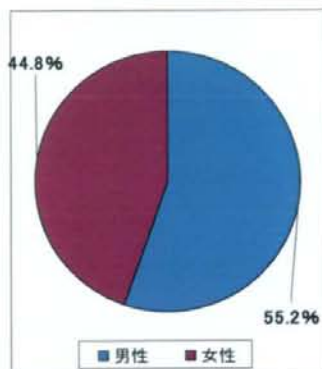


- ★ 5月開設以降3ヶ月で、**毎回定員を超える受検**
- ★ 1年間(12回の実施)で、**合計419名**への受検機会の提供

検査後アンケートの分析①

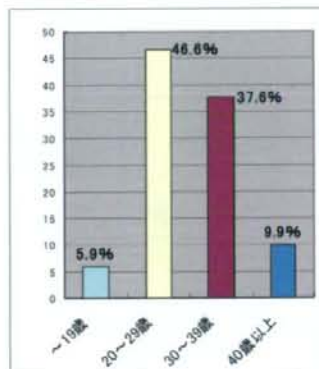
○2008年5月～1月までの受検者対象（335件）
○受検者への質問票（アンケート）、問診による集計

1、性別



★男女比はほぼ1:1

2、年齢

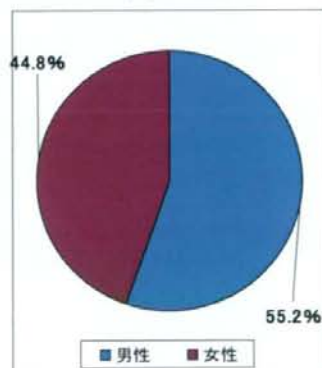


★平均年齢は、30.18歳

検査後アンケートの分析①

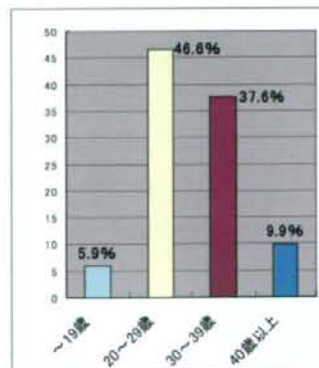
○2008年5月～1月までの受検者対象（335件）
○受検者への質問票（アンケート）、問診による集計

1、性別



★男女比はほぼ1:1

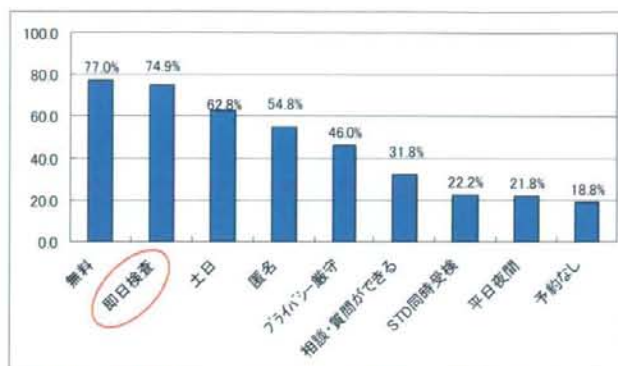
2、年齢



★平均年齢は、30.18歳

検査後アンケートの分析③

5、検査に期待する条件

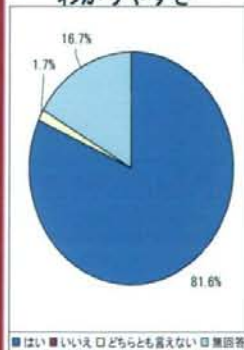


★即日、土日検査のニーズが高い(約75%の受検者が回答)

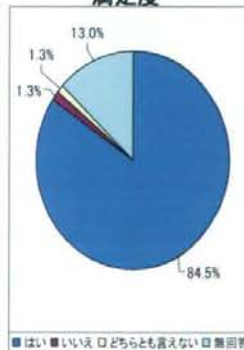
検査後アンケートの分析④

6、相談への評価

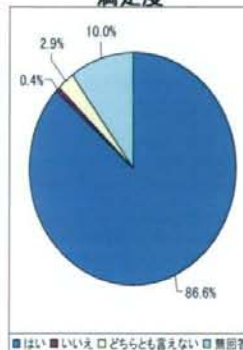
①検査前相談の
わかりやすさ



②検査後相談への
満足度



③電話受付・相談への
満足度



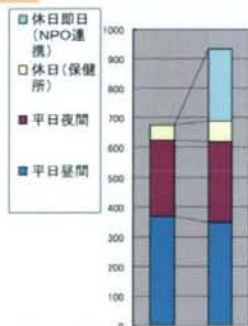
★NPOの持つ相談スキルへの評価を確認

さいたま市月別受検者数の推移（月別）



昨年度との比較

検査件数 ※4月～12月の数値での比較



	19年	20年
平日昼間	369	348
平日夜間	255	272
休日(保健所)	52	70
休日即日(NPO連携)	243	243
合計	676	933

陽性件数

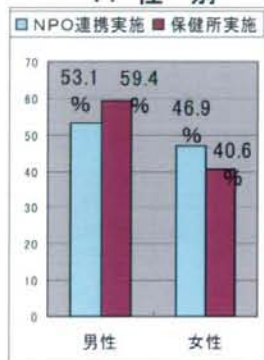
	19年	20年
平日昼間	1	2
平日夜間	4	0
休日(保健所)	0	1
休日即日(NPO連携)	0	1
合計	5	4

- ★さいたま市における検査件数の大幅増加
- ★休日即日(NPO連携)で判明した陽性者の人数も増加
(1月に1名、確認検査陽性で計:2名)

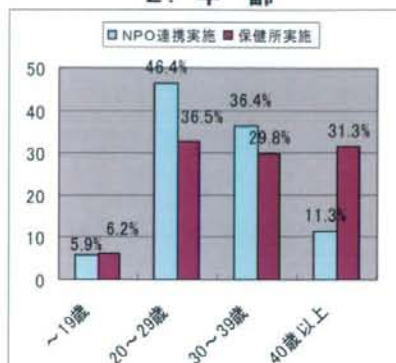
NPO連携－保健所実施間の比較①

NPO連携：休日即日
保健所：平日昼間、平日夜間、休日

1. 性別



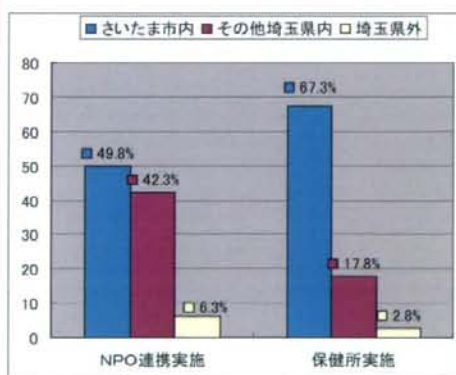
2. 年齢



★20代と30代の受検が多い

NPO連携－保健所実施間の比較②

3. 居住地域



★NPO連携による実施は
県内居住(さいたま市以外)
の受検が多かった

★ターミナル駅周辺という立
地条件、休日即日などの要素
から市内だけでなく県内居住
者からのアクセスがある。

受検者数と受検希望者数の推移

※ 2008年4月～2月までの集計



- ★受検定員に対し、予約問合せが2～3倍と多い
- ★拠点の増加や利便性の追求が必要となっている

成果

- 「行政－NPO連携によるHIV検査相談事業」の新規事業化
 - ・エイズ予防指針内の「NPO等との連携強化」の具体的な事例を達成できた。
- 地方公共団体が重視している「検査相談・情報普及」に貢献
 - ・NPO連携による事業実施は、地方公共団体の抱える人的資源の不足、ノウハウの不足などを補完できる手段となりうる。

Ⅱ. 研究成果の刊行に関する一覧表

研究成果の刊行に関する一覧表

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌・書籍名	巻号	出版年	ページ
中川重徳、 永野靖、 森野嘉郎	「HIV感染者に関する法的観点」	日本エイズ学会誌	Vol.8No,3	2007 年	P136- p139
柏崎正雄	「国際エイズ会議の概要と日本からの参加報告」	日本エイズ学会誌	Vol.9No,1	2007 年	p62- p64
大石敏寛	「感染者の生活」	公衆衛生	第 71 卷 第2号	2007 年	p62- p67
河口和也	『「文化」と「権力」の社会学』	広島修道大学学術 交流センター研究 叢書	140 号	2008 年	P9- P161

厚生労働科学研究費補助金 エイズ対策研究事業
平成 18 年～20 年度総合研究報告書

同性愛者等への有効な予防介入プログラムの普及に関する研究

平成 21(2009)年 3 月 31 日 発行

研究代表者 嶋田 憲司

特定非営利活動法人 動くゲイとレズビアン研究会

164-0012 東京都中野区本町 6-12-11 石川ビル 2F

TEL: 03-3383-5556 FAX: 03-3229-7880

E-mail: occur@kt.rim.or.jp URL: <http://www.occur.or.jp>

厳禁無断複製転載© 特定非営利活動法人 動くゲイとレズビアン研究会